




令和元年度 長崎大学教育学部附属特別支援学校 学校評価（自己評価）

<p>学校教育目標</p>	<p>児童生徒が日々の生活の中で「生きる喜び」を抱きながら、健やかな体と基礎基本の知識や技能を基盤として学びを深める中で自分の良さや可能性を肯定的に捉え、生涯を通じて自己選択・自己決定し、主体的に社会参加するために必要な「生きる力」を身に付けることで、よりよい共生社会づくりに参加・貢献できる心豊かで働く力をつけた人の育成を目指す。</p>	
<p>学校経営目標</p>	<p>今年度の努力目標</p>	
<p>① 児童生徒一人一人の障害特性、教育的ニーズ等に応じた適切で効果的な指導を実践する。</p>	<p>ア 障害の特性や教育的ニーズ等に応じた指導方法を工夫した「分かる授業」を実践する。 イ 「体罰」、「不適切な言動」のない人権を尊重した指導を徹底するとともに、人権意識の向上を目指した職員研修を行う。</p>	
<p>② 「主体的・対話的で深い学び」のある授業づくりと授業改善を実践する。</p>	<p>ウ 県教育センターの調査研究協力校として、「主体的・対話的で深い学び」に関わる校内研修と授業提供を行う。 エ 単元構想シートや授業記録の蓄積を推進する。</p>	
<p>③ 児童生徒の実態に即した分かりやすい教育課程の編成に努めるとともに、学校組織が一体となったカリキュラム・マネジメントにより教育課程の改善を実践する。</p>	<p>オ 全校研究による教育課程の編成に取り組み、次年度の年間指導計画を作成する。 カ 教育課程運用に向けた組織づくりや評価方法（ツールや時期等）の検討を行う。</p>	
<p>④ 児童生徒一人一人のキャリア発達を促し、自己選択・自己決定による進路実現に向けた進路学習を実践する。</p>	<p>キ 自己選択・自己決定による進路実現に向けた進路指導を実践し、指導事例の蓄積を継続する。 ク FCCP（附属キャリアチャレンジプロジェクト）の充実・発展に努める。</p>	
<p>⑤ 特別支援教育の将来を担う人材の育成のため、理論と実践が往還した教育実習を実践する。</p>	<p>ケ 教育実習の内容や方法の改善を図り、限られた時間内での効果的・効率的な教育実習を推進する。 コ 参加観察実習の内容や方法の改善を図り、指導の充実を図る。</p>	

<p>⑥ 生涯を通じて共生社会に参加・貢献するために必要な現代的諸課題に対応した指導を実践する。</p>	<p>サ 主権者教育、情報モラル教育、安全教育などを計画的に実施する。 シ 実際の災害や不審者侵入を想定した実効性の高い訓練を実施する。 ス いじめ防止基本方針の策定・運用・改善に努め、いじめのない学校づくりを推進する。</p>
<p>⑦ 教育実践や研究成果等の発信をするとともに、附属学校の特色を生かした特別支援教育のセンターとしての機能を発揮し、特別支援教育の充実・発展に貢献する。</p>	<p>セ ホームページの更新・学校だよりの配布を行い、本校教育活動への理解啓発を図る。 ソ 附属学校の特色を生かした地域支援の内容・方法について検討し、推進する。</p>
<p>⑧ 安全・安心な学習環境の整備や豊かな心を育てる学校環境づくりに努める。</p>	<p>タ 児童生徒の学びの過程や成果が分かる掲示教育を推進する。 チ 校舎内外の美化の推進と施設・設備の安全管理の徹底を図る。 ツ ヒヤリハット事案を共有し、事故の未然防止に努める。</p>
<p>⑨ 附属学校の教員として、研修に励み、特別支援教育に関わる高度な専門性の向上に努める。</p>	<p>テ 自立活動についての研修を行い、自立活動に関する指導力向上に努める。 ト 研究授業及び授業研究会や校内研修会を計画的に実施する。</p>
<p>⑩ 全ての教職員が融和協力するとともに互いに律し合う関係を築くことで、不祥事のない働きやすい職場づくりを推進する。</p>	<p>ナ 全児童生徒、教職員による「すみれ（スマイル・身だしなみ・礼儀）運動」を推進する。 ニ 行事の見直しや業務削減を推進する。 ヌ 教職員一人一人が限られた時間内での効率的な業務遂行を意識して業務に取り組む。</p>
<p>⑪ 限られた予算の有効的な執行に努め、保護者や地域の信頼に応える学校運営を行う。</p>	<p>ネ 備品購入、営繕整備等にかかる予算の計画的執行に取り組む。 ノ 省エネ・リサイクル等による経費削減への取組を推進する。</p>

※  は、達成率 70%未満の項目

※  は、達成率が前年度より 10%以上上昇した項目

※  は、達成率が前年度より 10%以上下降した項目

評価基準

4 : そう思う

3 : ややそう思う

2 : あまりそう思わない

1 : そう思わない

分野	番号	項目	具体的な評価項目	学校経営目標との関連	今年度の努力目標との関連	昨年度		今年度	
						評価平均	達成率	評価平均	達成率
学校経営	1	学校経営目標の設定	学校は、学校の使命や校訓、学校教育目標などを踏まえて学校経営目標を設定している。	①～⑪	ア～ノ	3.8	84.6%	3.8	100.0%
	2	本年度努力目標の設定	学校は、学校経営目標や実情、ニーズなどを踏まえて本年度努力目標を設定している。	①～⑪	ア～ノ	3.8	84.6%	3.7	96.2%
	3	部経営方針の設定	部は、学校経営目標や本年度努力目標、部の実態などを踏まえて部経営方針を設定し、部の運営を行っている。	①～⑪	ア～ノ	3.5	100.0%	3.7	96.2%
	4	学級経営方針の設定	学級は、学校経営目標や本年度努力目標、部経営方針、学級の実態などを踏まえて学級経営方針を設定し、学級の運営を行っている。	①～⑪	ア～ノ	3.6	100.0%	3.7	100.0%
	5	分掌組織の設定	学校は、効果的・効率的に業務が遂行できるように校務分掌を組織している。	①～⑪	ア～ノ	2.8	61.5%	3.0	76.9%
	6	分掌部方針の設定	分掌部は、学校経営目標や本年度努力目標、学校の実情などを踏まえて分掌部方針を設定し、分掌部の運営を行っている。	①～⑪	ア～ノ	3.6	100.0%	3.3	92.3%
	7	各種委員会の運営	学校は、目的に応じた委員会を設置し、適切に運営している。	①～⑪	ア～ノ	3.2	84.6%	3.2	88.5%
	8	働き方改革	学校は、計画的に定時退庁日を設定している。	⑩	ニヌ	2.7	53.8%	2.8	65.4%
	9	学校事務運営	学校は、文書や金銭等の管理や処理を適切に行っている。	⑪	ネノ	3.3	96.2%	3.1	80.8%

教育活動	10	教育課程	学校は、教育課程の実施状況を適切に評価している。	③	オカ	2.9	73.1%	2.8	80.8%
	11		学校は、教育課程の実施状況の評価に基づき、適切にその改善を行っている。	③	オカ	3.0	84.6%	2.8	76.9%
	12		学校は、関係法令や学習指導要領に従い、児童生徒の障害の状態や特性及び心身の発達の段階並びに学校や地域の実態等を十分考慮して、適切な教育課程を編成している。	③	オカ	3.0	80.8%	2.8	76.9%
	13		学校は、教育課程に基づいて適切に教育活動を実践している。	③	オカ	3.3	92.3%	3.0	80.8%
	14	学校行事	学校は、前年度の反省を生かして、学校行事の時期や回数、内容などを設定している。	③⑩	オカ二	3.3	96.2%	3.3	92.3%
	15	個別の教育支援計画	学校は、個別の教育支援計画を作成し、必要に応じて活用している。	①⑥	アサシス	3.0	69.2%	2.7	61.5%
	16	個別の指導計画	学校は、個別の指導計画を作成し、児童生徒の特性などに配慮しながら個に応じた指導を行っている。	①②⑨	アウテ	3.1	73.1%	2.7	61.5%
	17	道徳教育	学校は、日々の指導の中で、道徳教育に関する指導を適切に行っている。	①⑥	イス	2.9	69.2%	2.8	65.4%
	18	自立活動の指導	学校は、児童生徒の実態を的確に把握し、必要な指導を計画的に行っている。	①⑨	アテ	3.0	80.8%	2.9	73.1%
	19	キャリア教育の充実	学校は、キャリア教育全体学習計画を意識しながら日々の指導を行っている。	④⑥	キクサ	2.8	65.4%	2.8	76.9%
	20	人権尊重、体罰の防止	学校は、「体罰」や「不適切な言動」によらない指導を行っている。	①	イ	3.6	96.2%	3.5	100.0%
	21	主体的・対話的で深い学びの実践	学校は、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて授業改善を行っている。	②	ウエ	3.2	88.5%	3.0	76.9%
	22	教育活動の創意工夫	学校は、学習内容や教材を工夫しながら指導を行っている。	①⑧	アタ	3.6	96.2%	3.6	100.0%
	23	進路指導	学校は、進路実現に向けて現場実習や進路に関する学習を適切に行っている。	④	キク	3.7	100.0%	3.8	100.0%
	24		学校は、進路実現ができるように自己選択・自己決定を促しながら進路指導を行っている。	④	キク	3.8	100.0%	3.7	100.0%

	25	豊かな生活に関する指導	学校は、卒業後の生活が豊かになるように、体験学習などを適切に実施している。	④⑥⑩	キクサシ ナ	3.5	96.2%	3.4	92.3%
	26	保健指導	学校は、生活年齢等に応じて、保健指導を適切に行っている。	①⑧	アチ	3.6	100.0%	3.6	100.0%
	27	安全教育・防災教育	学校は、避難訓練などを通して、児童生徒の安全・防災に関する指導を適切に行っている。	⑥	シ	3.6	100.0%	3.7	100.0%
	28	危機管理マニュアル	学校は、危機管理マニュアルを整備するとともに、必要に応じて見直しを行っている。	⑥	シ	3.8	100.0%	3.4	96.2%
	29	災害時の備蓄品	学校は、災害への備えとして、計画的に備蓄品を準備している。	⑥	シ	2.7	65.4%	3.1	88.5%
	30	事故・ヒヤリハット	学校は、事故やヒヤリハットが起きた際には情報を共有し、再発防止に努めている。	⑧	ツ	3.5	96.2%	3.5	96.2%
	31	交流及び共同学習	学校は、共生社会の実現に向けて、交流及び共同学習を計画し、学校間交流や居住地校交流を適切に実施している。	⑥		3.3	84.6%	3.2	92.0%
教育 環境	32	施設・設備の充実	学校は、教育活動に必要な施設・設備を整備している。	⑧	チツ	3.2	92.3%	2.9	73.1%
	33	施設・設備の安全管理	学校は、施設・設備の安全点検を定期的を実施し、問題点があれば早急に対応している。	⑧	チツ	3.5	92.3%	3.5	96.2%
	34	美化	学校は、校舎内外の美化に努めている。	⑧	チ	3.5	100.0%	3.2	88.5%
	35	掲示	学校は、校内の掲示を工夫して行っている。	⑧	夕	3.4	100.0%	3.2	96.2%

専門性の向上	36	新学習指導要領の理解	学校は、研修会に参加したり研修を行ったりするなど、新学習指導要領の理解を促す取組を行っている。	②③	ウエオ	3.5	96.2%	3.2	88.5%
	37	カリキュラム・マネジメント	学校は、カリキュラム・マネジメントの確立に向けて調査・研究を行っている。	②③	ウエオカ	3.2	76.9%	3.0	76.9%
	38	人権に関する研修	学校は、人権に関する研修を適切に実施している。	①	イ	2.6	50.0%	3.1	88.5%
	39	福祉制度等の理解	学校は、福祉制度などに関する研修を実施して職員の理解を深めている。	⑨		2.7	61.5%	3.0	84.6%
	40	現職教育	学校は、教員として必要な研修（現職教育）を計画的に実施している。	①②⑨	イウテト	3.0	73.1%	2.8	76.9%
	41	授業力の向上	学校は、授業研究などを通して授業力の向上に努めている。	①②⑨	アウト	3.2	80.8%	3.0	76.9%
	42	教育実地研究	学校は、効果的な教育実地研究の実施に向けて、課題の分析と改善を行っている。	⑤	ケコ	3.2	84.6%	3.1	84.6%
	43	研修への参加	教員は、教育センターの研修講座や各種研修会に参加し、専門性の向上に努めている。	①②⑨	アウエテト	3.0	76.9%	2.8	73.1%
開かれた学校	44	学校経営方針の明確化	学校は、教職員や保護者等に対して学校経営方針を明確に示している。	⑦	セ	3.4	88.5%	3.4	92.0%
	45	センター的機能	学校は、教育相談やのびのび教室を通して、地域の特別支援教育に関するセンターとしての役割を果たしている。	⑦	ソ	3.5	88.5%	3.1	88.0%
	46	理解・啓発	学校は、ホームページや学校だよりを通して、学校の様子を保護者や地域に発信している。	⑦	セ	3.4	92.3%	3.2	88.0%
	47	情報提供	学校は、連絡帳や電話、一斉メールなどで、必要な情報を素早く保護者に伝えている。	⑪	ノ	3.6	96.2%	3.6	96.0%
	48	学校公開	学校は、関係者や地域に対する学校公開を適切に実施している。	⑦	セ	3.5	96.2%	3.5	96.0%
	49	保護者からの相談への対応	教職員は、保護者からの相談に対し、誠意をもって丁寧に対応している。	⑩	ナ	3.7	96.2%	3.6	96.0%
	50	すみれ運動の推進	教職員は、保護者や学校関係者に対し、「すみれ運動（スマイル・身だしなみ・礼儀）」を意識し、丁寧に対応している。	⑩	ナ	3.6	92.3%	3.6	95.8%